

第4回卒後教育部放射線部会 勉強会

日時：平成27年2月28日（土）

場所：大阪市阿倍野市民学習センター第1会議室

報告者： 夏日 勇人

プログラム

- ・ 舌癌を対象とした金属アーチファクト低減画像再構成法に関する有用性の検討

宮原哲也先生

- ・ マンモグラフィ画像におけるスピキュラを伴う腫瘍陰影の2D画像と3Dトモシンセンス画像での比較検討

増田奈々子先生

- ・ 一般撮影のいろはについて～ディスカッション～

大谷一弘先生

報告事項

今回の勉強会では大阪物療大学3回生の参加がとても多く大盛況でした。宮原先生のCTにおける金属アーチファクト低減再構成法では再構成で歯のアーチファクトが低減できることを知り、口内等の疾患に対して大変有用であると感じました。今回が初参加となった増田先生のマンモグラフィの発表では未経験者の私でも理解できるような大変わかりやすい発表でした。3Dトモシンセンスは2Dでは難しい、組織の重なり等による問題を減らせ、より乳がんの早期発見につながるものでした。大谷先生の発表では実際に撮影体位の実演を行いながらディスカッションを行い、さまざまな病院の撮影方法のコツを教わり、今後の業務に役立てたいと思いました。また、今回のディスカッションでは初めての試みとして、イマキク、スグキクというリアルタイム投票型のシステムを導入し、参加者の意見・感想がすぐにわかることができました。操作もシンプルでいつもとは違った形式となり、盛り上がりました。

26年度の最後の勉強会でしたが、非常に学生の参加が多く、来年度大人数の参加が期待できそうです。

卒業生の皆様、大学生の皆様来年度もぜひご参加お願いします。